

各特別養護老人ホーム  
各介護老人保健施設  
各介護医療院  
各介護療養型医療施設

管理者殿

神奈川県健康医療局医療危機対策本部室長  
(公 印 省 略)

中和抗体療法往診体制における方針の見直しについて(通知)

日頃から本県の新型コロナウイルス感染症対策の推進に御協力をいただき、感謝申し上げます。  
さて、県ではこれまで陽性者の重症化予防及び濃厚接触者の発症抑制や施設でのクラスター発生を防止するため、施設で新型コロナウイルス感染者が発生した場合に、陽性者や希望する濃厚接触者等に速やかに中和抗体療法を実施する体制の構築を進めてきました。

こうした中、昨年 12 月 28 日付け厚生労働省事務連絡「新型コロナウイルス感染症における中和抗体薬の医療機関への配分について」において、「カシリビマブ及びイムデビマブ」(販売名：ロナプリーブ™注射液セット 300、ロナプリーブ™注射液セット 1322) はオミクロン株に対し、中和活性が低下していると報告されているため留意した上で投与すること、とされています。

一方、「ソトロビマブ」(販売名：ゼビュディ点滴静注射液 500 mg) については、現段階で濃厚接触者への投与が認められておりません。

そこで、オミクロン株への置き換わりが急速に進んでいる現状を鑑み、今後、高齢者施設で新型コロナウイルス感染者が発生し、施設内療養となった場合は、医師の判断により、陽性者への投与は引き続き行いますが、濃厚接触者への投与は行わないこととさせていただきますので御理解いただきますようお願いいたします。

つきましては、今回の方針見直しを受け、既にご回答いただいている「【高齢者向け】中和抗体療法往診体制整備に係るアンケート」の回答内容に変更が生じる施設がございましたら、お手数ですが、Web フォームに、令和 4 年 1 月 26 日(水)までに御回答いただきますようお願いいたします。

併せて、貴施設の施設配置医師、協力医療機関、併設医療機関等(以下「連携医師等」という。)が、新たに「陽性者」のみであれば中和抗体療法を実施可能とした場合\*は、別途、連携医師等も Web フォームに御回答いただくよう御案内ください。

\* これまで「往診チーム」の往診投与を希望しており、今回の変更を受けて、「陽性者」であれば「連携医師等」が中和抗体療法を実施するとした場合を指します。

1. 【高齢者施設向け】中和抗体療法往診体制整備に係るアンケート【回答者：貴施設】

\* 以前の回答を変更する場合にのみ、御回答ください。

Web フォーム URL

<https://30037ff9.form.kintoneapp.com/public/96583c77d1fe3f96a14bb65b6219be28e378eb96854dda869292a6b15c5eae8a>



2. 【連携医師等向け】中和抗体療法往診体制整備に係るアンケート【回答者：連携医師等】

- ※ これまで「往診チーム」の往診投与を希望しており、今回の変更を受けて、「陽性者」であれば「連携医師等」が中和抗体療法を実施するとした場合にのみ、「連携医師等」に御回答いただいでください。

WebフォームURL

<https://30037ff9.form.kintoneapp.com/public/b13fa53ceb94886b194271bf854d072182f18007490e53849bb79faa382d7632>



問合せ先

次の問合せWebフォームからお問合せください。

<https://30037ff9.form.kintoneapp.com/public/342c9f2e0c65dd4ef9e47ae05015cf1b11c57e2d4effadeea9ec844a29e29d6e>

感染症対策グループ 中和抗体療法調整チーム

